

## 会議録

会議の名称	令和4年度 第1回西東京市地域公共交通会議
開催日時	令和4年5月23日(月) 午後1時55分から午後3時25分まで
開催場所	防災・保谷総合保健福祉センター6階 講座室2
出席者	<p>【委員】古厩委員(会長:まちづくり部長)、岡村委員、関根委員、畠山委員、町田委員、米澤委員、清家委員(代理 田中様)、松村委員、桑島委員、滝沢委員、渡辺委員</p> <p>【事務局】長塚交通課長、本庄係長、石部主査、高山主事、田中主事</p>
議題	みどりバスの保谷駅北口への乗り入れについて
報告	令和4年度 はなバスの乗降調査とアンケート調査について
会議資料の名称	<p>《説明資料》</p> <p>資料1-1 みどりバス保谷ルートの変更案について</p> <p>1-2 道路運送法第9条第4項及び同法施行規則第9条第2項に掲げる協議が調っていることの証明書(案)</p> <p>資料2-1 はなバス乗降調査・アンケート調査概要</p> <p>2-2 令和3年度第3回会議結果(御意見・回答)</p> <p>2-3 アンケート調査項目について</p> <p>2-4 はなバスに関する利用者アンケート(案)</p> <p>2-5 はなバスに関するアンケート(案)</p> <p>資料3 令和4年度西東京市地域公共交通会議スケジュール(予定)</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><b>1 開会</b></p> <p>○会長: 会議開催にあたり、西東京市地域公共交通会議設置要綱第6第2項に規定する定足数、委員の過半数を満たしていることを報告する。 欠席者: 小河委員 議事に先立ち、会議の公開についてお諮りする。当会議は、西東京市地域公共交通会議設置要綱第7の規定により、会議録も含め、原則公開となっている。公開でよろしいか。</p> <p>～全員賛成～</p> <p>○会長: それでは、本日の会議については原則どおり公開とする。</p> <p>～傍聴人あり～</p> <p><b>2 議事</b></p> <p><b>議題 みどりバスの保谷駅北口への乗り入れについて</b></p> <p>○会長: みどりバスの保谷駅北口への乗り入れについて、事務局より説明を求める。</p> <p>○事務局: みどりバスの保谷駅北口への乗り入れについては、みどりバスの運行を実施している練馬区の担当者より説明することとしたいがよろしいか。</p>	

○会 長： みどりバスの保谷駅北口への乗り入れについては、練馬区の担当者から説明してよろしいか。

～全員賛成～

○会 長： それでは、みどりバスの保谷駅北口への乗り入れについては、練馬区の担当者から説明を求める。

～練馬区入室～

○練馬区： 資料1-1、1-2により、みどりバスの保谷駅北口への乗り入れについての概要等を説明。

○会 長： 練馬区からの説明について、質問、意見があれば発言願いたい。

○委 員： 時刻表、始発・終発の時刻に変更はあるか。

○練馬区： 現行の始発・終発時刻をベースに、今回のルート変更に合わせて時刻表の見直しを検討する。

○委 員： 保谷駅北口の西東京市道に、はなバスのルートを設定する意向となった場合、運賃や停留所の使用について、西東京市の意向を踏まえて練馬区でも検討していただけるか。

○練馬区： はなバスのルートが保谷駅北口から北上し、練馬区道を通るルートへの変更を検討する場合には、あらためて協議したい。

○事務局： 今回保谷駅北口に乗り入れるみどりバスは、現在のはなバス第1ルートと競合はないと認識している。はなバスの新たなルートがみどりバスと競合する場合には、改めて練馬区と協議したい。

○会 長： 他に意見が無いようであれば、「みどりバスの保谷駅北口への乗り入れ」は、道路運送法上の手続きとして「協議が調っていることの証明書」を運行事業者に交付し、関東運輸局へ各種手続きを行う必要がある。協議が調ったとしてよろしければ、挙手を願いたい。

～挙手全員～

○会 長： 挙手全員のため、本会議において協議が調ったとさせていただき、議題(1)については終わらせていただく。

～練馬区退席～

**報告事項 令和4年度 はなバスの乗降調査と利用者及び市民アンケート調査について**

- 会 長： 報告事項「令和4年度 はなバスの状況調査と利用者及び市民アンケート調査について」、事務局より資料の説明を求める。
- 事務局： 説明の前に、今後の調査に会議のご意見を反映させるため、調査を業務委託する（株）高島テクノロジーセンターの担当者を入室させたいがよろしいか。
- 会 長： 調査を業務委託する（株）高島テクノロジーセンターの担当者を入室させてよろしいか。
- ～全員賛成～
- 会 長： それでは、（株）高島テクノロジーセンターの担当者の入室を認める。
- ～（株）高島テクノロジーセンター入室～
- 事務局： 資料2-1、2-2、2-3、2-4により、はなバスの乗降調査と利用者アンケート調査について説明。
- 会 長： 事務局より、はなバスの乗降調査と利用者アンケート調査について説明があった。質問、意見があれば発言願いたい。
- 委 員： 利用者アンケート案の右上に平日アンケートと記載されているが、休日アンケートと内容は異なるのか。
- 事務局： 内容は同じもので、右上を土休日と変更して配布する。
- 委 員： 前回のアンケートの回収率はどれほどか。
- 事務局： 平日は、配布数2,226票、回収数988票、回収率44.4%、休日は、配布数1,501票、回収数515票、回収率34.3%であった。
- 委 員： 質問項目が多く、回答に労力がかかり、回収率が下がることを懸念している。回答率をあげるため、回答者に対するノベルティ配布を検討してはどうか。
- 事務局： 今回はノベルティ等の準備はないが、回収率向上の方策を可能な範囲で検討したい。
- 委 員： 乗降調査票に記入した年齢について、乗客から訂正の申し出があった場合は対応するのか。

- 事務局： 乗客から申し出があればその場で修正する。
- 委員： 利用者アンケートの配布基準は何か。
- 事務局： 調査員が目視で判断し、16歳以上の乗客に配布する。
- 委員： 補助金額が適正かどうかを問う設問について、判断材料として他市の状況などがわかるとよいと思う。
- 委員： 市外からの来訪者や、高齢者が回答しやすい内容としてほしい。
- 委員： 問2の8について、坂などの地形による理由を追加してはどうか。
- 事務局： 地形による理由の方が選択するのは、身体的負担や安全性の項目などを想定している。
- 委員： 利用理由の選択肢に括弧書きで例を記入し分かりやすくしてはどうか。
- 会長： 回答は択一式なので、回答者がイメージしやすい文言にした方がよい。
- 委員： 設問の利用目的によって、複数選択か択一か検討する。択一とするなら、選択肢の内容が重複しないよう、またわかりやすい文言となるよう検討してほしい。
- 委員： 問6について、運賃が路線バスと同等になってもはなバスに乗車するか、又は、車両をワゴンタクシー等に小型化してコストダウンした方がよいか、という設問を追加してはどうか。
- 事務局： 前回調査と比較するため、前回と同じ設問となっているが、ご意見を踏まえて検討する。
- 委員： Web回答が可能であれば、バス乗客に限定せず、広く市民に配布し回答を集めた方が、サンプル数が多くなるのではないかと。
- 事務局： サンプル数が多い方がよいが、Web回答での重複回答の制御が難しいため、広く配布することは今回は想定していない。
- 委員： 問6で使用している「補助金」という用語は、ネガティブな印象を与え、回答内容に影響が出る可能性があるため、中立的な言葉にした方がよいと考える。問6(2)については、問6(3)で把握できる内容のように感じる。問6(4)で使用している、ほうが良い、という文言は、比較が入るので、文言の変更を検討してほしい。
- 事務局： 設問の趣旨を鑑み、検討する。

- 会 長： 次に、市民アンケート案の説明を求める。
- 事務局： 資料２－５により、市民アンケート調査について説明。
- 会 長： 事務局より、市民アンケート調査について説明があった。質問、意見があれば発言願いたい。
- 委 員： 前回調査の際、はなバスを利用していない方からの回答はどの程度か。
- 事務局： はなバスを利用したことがない方は46.9%、全く知らない方は1.3%だった。
- 会 長： 委員からご指摘の箇所は事務局にて検討されたい。次の「その他」に進めさせていただく。その他について、事務局から説明を求める。
- 事務局： 資料３により、令和４年度西東京市地域公共交通会議スケジュールについて説明。次回の会議は８月頃の開催を予定しており、はなバスの乗降調査と利用者及び市民アンケート調査結果の速報、令和３年度はなバス運行実績について報告する。第３回と第４回は、はなバスの事業改善の骨子・方針をご協議いただきたい。
- 会 長： 全体を通して意見はあるか
- 委 員： 資料２－２に、令和４年度中に田無駅南口の交通広場の事業認可の延伸手続をするとあるが、はなバスのバス停の移設等は今年度中に議論する必要があるか。
- 事務局： 田無駅南口整備の事業認可は令和４年度末まで取得しているが、事業が完了しない想定のため、事業年度を延伸する。よって、今年度の議論は想定していない。

以上